

第 56 期中央労働講座

全港湾九州地方関門支部執行委員

三浦 晃嗣

2025 年 6 月 12 日～14 日、豊橋シーパレスにて第 56 期中央労働講座に参加してきました。全国の地方から支部書記長や執行委員 28 名、中央本部から 5 名、来賓として全国港湾より玉田書記長、総勢 34 名で行われました。

1 日目、松永書記長による講演者紹介、鈴木誠一委員長の挨拶から始まりました。最初のテーマ「全港湾の歴史」について鈴木誠一委員長の講義のもと 4 班に分かれてグループ討論し、発表という流れでした。

各グループの中で、それぞれの地方の歴史や問題などを共有し、今後の全港湾の発展に活かしていこうと強く思いました。その日の懇親会では各グループに分かれて交流を深めることができました。関門支部 3 名で玉田書記長、松永書記長、橋崎副委員長と短い時間で話が色々とお話することができ、とてもいい経験ができたと思います。

2 日目、玉田書記長による「産別協定と事前協議制度」について講義がありました。産別協定は先輩たちがたたかいによって築いた財産であり、活かしてこそ事前協議、産別協定を活かす運動の中心を担ってくださいと熱い、深い内容の講義でした。地域、職場の運動があってこそその産別運動を、よりよくしていくことにより私たちの雇用、職域あるいは事業者、各地区港運協会とともに動く必要性を学びました。続いて鈴木龍一副委員長による「組合強化とは、役員とは、組織運営はどうあるべきか」という内容についての講義がありました。"幹部が主役ではなく組合員が主役である" リーダーの理念や役割などこれからの組合組織運営について議論し学ぶことができました。

今回の労働講座の参加対象である、書記長また書記長クラスというくくりもあり、年齢層が高かったためレクレーションで頭を使うオンブローゲームを各グループ対抗で行いました。このゲームが意外にすごく楽しく全員で団結しながらゲームをすることができました。最終日は全体の議題についてのグループ討論をしました。書記長クラスが集まった今回の労働講座を振り返って、最初是他支部の役職を見て圧倒され、どうなるかと思いましたが、九州地方、関門支部常任のこれまでのご指導ご鞭撻のおかげもあり、遜色なく討論できたことに関門支部常任、執行部のみなさんに感謝しかないです。"書記長は扇の要"であることや、リーダーの育成、横の繋がり的重要性、みんなで支える団結力など、組合組織に関わる全てのことを吸収できました。

これから自分自身、九州地方関門支部でも分会でも今回学んだことをしっかり活かしていきたいと強く思いました。まだまだ未熟者ですが一歩ずつしっかり仲間の為に進んでいきたいと思います。

第 56 期中央労働講座に参加させていただきありがとうございました。